

飯能西中だより



天覧山 6月号

飯能市立飯能西中学校
学校だより
令和4年度 第3-1号
令和4年6月1日発行

<校訓> 誠・和・進 <学校教育目標> 自立 共生

<目指す学校像> 心のよりどころとなる世界に誇れる学校

一人ひとりが大切にされていることが実感でき家に帰った時に元気よくたぐいませる学校でありたい
飯能西中学校スクールアイデンティティー

心に迫る、心に響く、心に残ること

校長 中村 公一

平年よりも早く梅雨入りしそうな天候が続いています。今月は各学年とも校外学習を予定しているため今後の天気の様子が変わりが気になるところですが、新型コロナウイルス感染症に罹ってしまうと天気どころの話ではなくなってしまいますので、日々の感染予防対策をしっかりと行いましょう。

さて、先月の5月15日は、太平洋戦争が終結してから米軍の統治下にあった沖縄が日本本土に復帰して丁度50年の節目を迎える記念の日でした。今から50年前の1972年といえば生徒の皆さんにとっては自分が生まれるずっと前のことですから、全く実感が湧かないのだろうと思いますが、当時の私は小学1年生でしたのでテレビなどで盛んに沖縄返還の報道が繰り返されていたのをよく覚えています。丁度その年は札幌で冬季オリンピックが開かれたり、その直後には浅間山荘事件が起きるなど激動の1年だったのですが、それらの映像がテレビを通して各家庭に届けられるようになったのはこのころからだったと思います。50年前、沖縄の人たちが心から願ったのは本土に復帰することにより平和憲法の下で基本的人権が守られる社会になることと、米軍基地が無くなることで奪われていた土地が戻り、静かで安定した生活が送れるようになることでした。しかしながら残念なことにそれらの願いは未だに叶えられてはいないのではないのでしょうか。先月、横田基地では一週間ほどの演習がありましたが、このときの米軍機の出す爆音はものすごく、授業を中断をしなければならぬ程でした。沖縄ではこのようなことが日常的に起こっているわけです。数年前、基地問題を巡って政府と沖縄県が協議した際に、ある政治家は「自分は戦後生まれなので歴史を持ち出されても困る」と言ったそうですが、沖縄が抱えている基地問題の深刻さや未だ癒えない戦争の傷跡を当事者として考えることこそが一番大切なのではないかとあらためて感じます。

ところで今月の6月23日は、沖縄県民のうち4人に1人が命を奪われたという太平洋戦争の沖縄戦での戦没者を悼む「慰霊の日」です。戦後77年経った今でも沖縄を始めとして日本全国で心身の傷が癒えないまま生きていらっしゃる方は少なくありません。しかしその一方で、私を含め戦争体験のない大人が増え、心の底から戦争は嫌と言える人が少なくなっているのも現実だと思います。数年前、沖縄戦で80人以上の人が自決した洞窟として戦争遺跡に指定されているチビチリガマを、少年達が悪ふざけで荒らすという事件がありましたが、毎年平和学習に力を入れてきた沖縄の教育関係者はこの事件で大変なショックを受けました。なぜなら警察の調べに対し少年達はそのような歴史があったことを知らなかったと話したからです。このことは私たちにとっても決して他人事ではありません。私たちが日々行っている教育活動が生徒の心に残るものになっていなければ同じことはまた繰り返されることになるからです。教育とは生徒の心に迫る。生徒の心に響く。生徒の心に残るものでなければならぬとあらためて思いました。

お知らせ 教科書展示会が6月7日（火）から6月24日（金）までの期間、飯能第一小学校で開催されます。ご覧になりたい方がいらっしゃいましたら本校教頭までお問い合わせください。
(973-3148 教頭 松浦 まで)

市民清掃デーで考えたこと

5月22日(日)の市民清掃デーではツーデーマーチのコースを中心とした道路の清掃作業が一斉に行われました。この時期は全ての市町村で同様の清掃活動が行われるのですが、近年このような地域毎に行われる奉仕活動に参加する若い人が少なくなっているようです。たしかに日曜日であっても仕事や部活動などの用事がある人が多く仕方の無いこととはいえ、こういった地域活動は住みよい街作りに欠かせないものですから参加しようとする意識を持つ必要があります。今回はソフトボール部、野球部、陸上部の生徒が部活の練習が始まる前や、練習が終わった後に学校周辺の道路掃除を手伝ってくれました。この日、ソフトボール部は日高市の高麗川中学校と合同練習をすることになっていたのですが、本校のソフトボール部の生徒が地域の清掃をしている間に、高麗川中学校の生徒が本校の生徒の代わりにグラウンドのラインを引いたり、バックネット付近の草を取ったりしてくれました。このように中学生が市町村を越えて協力する姿から私たち大人も大いに見習わなくてははいけないと思います。



フードロス無くす取り組みを続けましょう



給食のデザートとして柑橘系フルーツを提供したときの残量が多いことが悩みの種となっています。食べにくいことと手が汚れることが大きな原因であろうと思われていたので、先日の給食では放送でフードロス無くすことへの協力を呼びかけるとともに、ジュースフルーツをスマイルカットにして提供することにしました。その結果、生徒の皆さんの協力もあり残量を大幅に減らすことができました。ありがとうございました。



高麗川中学校の生徒も手伝ってくれました

アサーションという考え方があります

生徒の皆さんへ

6月を迎え、新しいクラスにもすっかり慣れたことでしょう。慣れが出てきたところで起こりやすいのが人間関係のほころびです。多くの場合人間関係のほころびは言葉の使い方や気持ちの伝え方に問題があります。これを解決するための手段にアサーションがあります。アサーションとは「自分も相手も大切にしたい上で、誠実に、率直に、対等に自分の要望や意見を相手に伝えるコミュニケーションの方法」のことです。そのためにまず次の4つの大きな柱を覚えておくと役に立ちます。詳しいことを知りたい人にはわかりやすく説明しますので昼休みなどに校長室に来て声を掛けてください。

誠実…自分だけでなく相手にも嘘をつかない。相手を優先しすぎて自分の気持ちを抑えすぎない。

率直…自分の意見を主張するとき遠回しな言い方をしない。主語を明確にして、第三者の発言を代弁しない。(他の人もそう思っているなどという言い方はしない)

対等…相手が誰であっても、相手を見下したり、威圧的な態度を取ったりしない。

自己責任…自分の主張した内容や考え方に責任感を持つ。自分がストレスを抱えてしまったり、相手を遠ざけてしまっている原因を相手に押しつけない。

○ 6月の主な行事予定 ○

4日(土) 学校公開日(弁当持参) 保護者会	16日(木) 学校総合体育大会(1日目) 給食無し
6日(月) 振替休業日	17日(金) 学校総合体育大会(2日目) 給食無し
7日(火) 出前授業(2・3年生) 高校説明会(3年生)	23日(木) 宿泊学習(2年生) 長野県蓼科方面(24日まで)
8日(水) 校外学習(1年生)	28日(火) 修学旅行(3年生) 京都・奈良方面(30日まで)
10日(金) 埼玉県通信陸上県大会(11日まで)	29日(水) テスト前諸活動停止期間開始